

平成 30 年 5 月 南大泉図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

|     |   |
|-----|---|
| 日時  | 平成 30 年 5 月 25 日（金） 14 時 40 分から 15 時 20 分まで   |
| 場所  | 光が丘図書館 第一会議室  |
| 出席者 | <p>(1) 光が丘図書館（以下「光」）<br/>光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（3）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 南大泉図書館指定管理者（日本コンベンションサービス株式会社）（以下「南大」）<br/>南大泉図書館長、同館業務従事者（3）、本社スタッフ（1）</p>   |
| 内容  | <p>① 施設管理について</p> <p>（光）施設修繕等で気になっているところは。<br/>→（南大）昨年度は、本館外壁のふくらみが点検で見つかり修繕をすることになったが、壁をはがしてみたところ見積もり時の想定以上に中が痛んでいたことがあった。築年数がある程度経過しているの、ところどころ傷んでいる箇所がある。</p> <p>その他に、2階の青少年館のレクホールにある扉が特注の防音扉のため非常に重く、扉が自分の重さで歪んでおりきちんと閉まらない状態である。現在見積もりを取っているが、特殊な防音扉のため、全くの同じ材質・仕様にした場合には、費用が高額になると聞いている。そのため、防音効果のある他の材質による見積もりも取ることにしている。</p> <p>（光）駐車場まわりの樹木の根本に、その樹木に関する本の紹介を表示したプラカードを設置した取組みについて<br/>→来館者の目に留まっていただけである。これを見て、カウンターに問合せをされる方もいる。</p> <p>② 職員体制・会計収支について</p> <p>（光）今年度の職員体制について<br/>→（南大）昨年度と大きな変更はないが、非常勤スタッフの退職があり、補充を進めている。現在、分室で職員 1 名が欠員である。また、本社では昨年度から障害者雇用の促進をしており、今年度から南大泉図書館にて障害者の方の採用を行い、現在週に 4 日勤務している。</p> <p>（光）職員研修について<br/>→（南大）基本的には昨年度と同じプログラムで組んでいるが、昨年度と同じ接遇研修であっても、例えば対象を障害のある方や妊婦の方を想定するなど、内容を変えたもので行いたいと考えている。なお、接遇研修は今年 5 月に予定しており、本館・分室と合同で行う予定である。</p> <p>（光）安全衛生委員会について<br/>→（南大）労働者代表を本館・分室それぞれから選び、職場内での危険箇所や清掃箇所、気になっている箇所等を挙げてもらい、その意見をもとに職場の労働環境・衛生環境を改善・向上すること目指している。</p> <p>③ 事業計画について</p> |

(光)「ゼロ本」について

→ (南大) 初めて貸出しとなった本が何冊かあった。表紙を見せて展示しているので、背表紙とは違った印象で見ただけでいるようだった。今後も継続して行う予定である。

(光) 高齢者施設への出張おはなし会について

→ (南大) これまで訪問を継続してきた施設や最近訪問を始めた施設でも、歌や参加型のレクをすると一緒に手を動かしてくださる方が多く喜んでいただけている。最近訪問を始めた施設としては2か所あり、昨年度半ばからはおはなしの庭を、今年からはおはなしカフェを行っている。

#### ④ 児童サービス事業について

(光)「3か国語で楽しむおはなし会」について

→ (南大) 3か国語それぞれの講師は自社の社員で担当した。参加者には、3つの言語の違いや言葉の響きの違いを楽しんでいただけたようで好評だった。また、参加者の年齢層については、英語のみのおはなし会と比べ少し年齢層の高い子供も参加していたように感じた。今後の実施については、講師全員の予定をそろえるのが難しいが、来館者の需要等も勘案して検討していきたいと考えている。

(光) 英語のおはなし会を行うなど英語を使った事業を多く実施しているが、その際は外部講師を利用することもあるのか。

→ (南大) 南大泉図書館で英語事業専任のスタッフを採用しているため、基本的にはプログラム作成から当日までの準備、当日の講師までを専任スタッフが担当している。なお、クリスマスやハロウィンなどの大きな事業の際にはネイティブの講師を呼ぶこともあり、その都度、事業に合わせて講師を配置している。

(光)「はるのおたのしみ会 おむすび座公演」について多くの参加者が来館したようだが、周知の方法などはどのように行ったのか。

→ (南大) 公演の周知はポスター掲示とホームページへの掲載を行った。会場を子供と本のひろばにしたため通常の図書館よりも子供とその保護者が集まりやすく、当日は80名もの参加者にご参加いただけたのだと思う。

(光) 青少年向けの事業で予定している「名作一頁目」について

→ (南大) 昨年は好評をいただき、今年で2年目の事業である。名作の文章をそのまま使用するため、著作権が切れているものを提示したところ、一般の方で特に年配の方から懐かしいという声をいただいた。青少年向けの事業として行ったが、一般の方にも手に取っていただき好評をいただいたのは良かったと思う。

(光) 図書館として、中高生の読書推進・読書支援をどのように考えるか。

→ (南大) まずは、本の楽しさを知ってもらうことが大事だと考えている。そのために、ブックリストの配布や「インスタ映え」といったテーマ展示、名作一頁目といった目を引く事業を今後も催し、面白い本に出会ってもらえる機会を作っていければと考えている。